

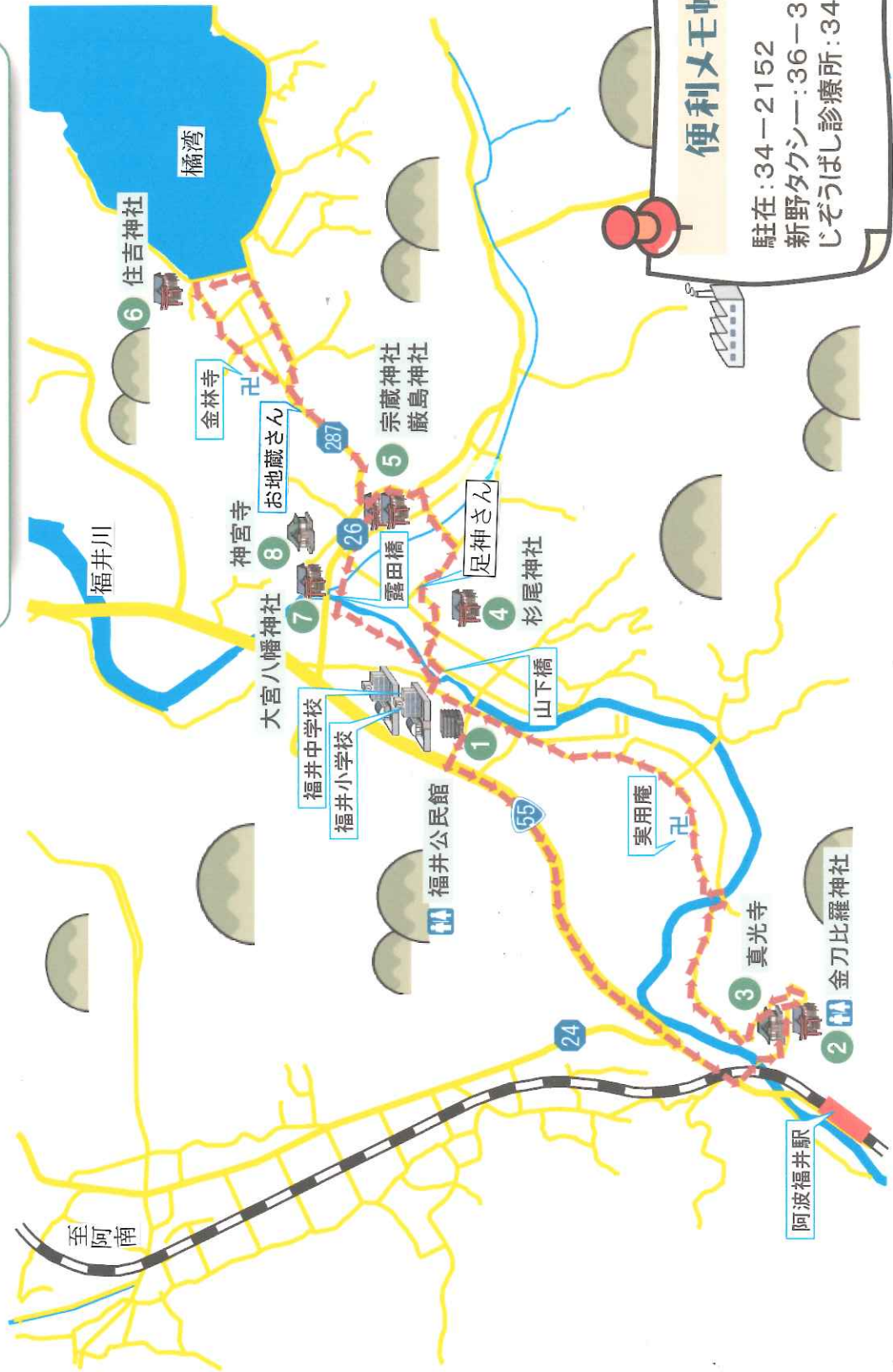
歩けへんで福井の郷を

阿南健康第11番完歩

福井公民館の道

福井公民館
福井町古津198-2
TEL(0884)34-2250

住民センター
TEL(0884)34-2001



便利メモ帳

駐在: 34-2152
新野タクシー: 36-3131
じぞうばし診療所: 34-3133

歩けへんで福井の郷を

阿南健康第11番完歩 福井公民館の道

- ①福井公民館 ②金刀比羅神社 ③真光寺
WC 2.0km WC 石段登る 3.0km
- ④杉尾神社 ⑤宗蔵神社・厳島神社 ⑥住吉神社
1.0km 1.0km
- ⑦大宮八幡神社 ⑧神宮寺 福井公民館
1.0km 石段登る 2.0km WC

●福井川の人柱 福井川の下流、露田橋の上手に桑野土手というのがある。こ
こは榑地川合流地点の上流にあたり、水の勢がいつも激しく、昔から土手の決壊が
多かった。このため、付近の農民は修繕費にいつも苦しめられるうえ、来る年も来る
年も不作にあえいでいた。そこで考えたま、人柱を建てることになった。人柱を入れて
からは、決壊もなくて付近は平和郷になったという。

●金刀比羅神社 江戸時代の元禄9(1696)年、讃岐琴平の金刀比羅大権現
の分霊を勧請し、市内福井町古津に祀ったのが起りで、寛保元年(1741)現在地に
移して社殿を造営した。現在の社殿はその時のもので、本殿は神明造り、弊殿と拝殿
は千鳥波風の入母屋造りの総檜材である。桃山時代の様式を残した変型権現造りで、
県下でも貴重な古い神社である。祭神は大物主命(おおものぬしのみこと)、別名、大
国主命(おおくにぬしのみこと)である。

●竹林 阿南市はタケノコの産地として有名で、福井・新野・桑野・榑などに竹
林が多い。文化3(1806)年ごろ、福井村中連の岩浅勝太が伊勢参りの折に孟宗竹の
親竹を持ち帰り、金刀比羅下の山に植えたところおいしいタケノコが生えてきた。土質
と氣候が適したこと、雑木林を開墾して竹林にしていたのがタケノコ生産の始ま

りである。

●慈眼山 真光寺 高野山真言宗の寺で、天文年間(1532~1554年)の創建
である。本尊の『聖観音菩薩』は「古来より開扉せし事なし」の秘仏である。薬師堂、鐘
楼は上にある。

●杉尾神社 祭神は大日貴神(おこなむちのみこと)であるが、武内宿弥(たけ
のうちすくね)という説もある。大樹に囲まれた山上にある。「往古境内の大樟樹と大
宮八幡神社の大樟樹と連接して一大浮き橋を呈せり」と言われた。

●宗蔵・厳島神社 この地域の氏神として古くより祭られている。厳島神社は安
産の神様として知られている。

●住吉神社 祭神は三箇男命(みつおのみこと)である。底箇男命、中箇男
命、表箇男命の住吉三神。明和8(1771)年、住吉大神を勧請し、明治3(1870)年住
吉神社と改称した。鳥居前に南海地震の津波の記念碑がある。

●大宮八幡神社 大宮八幡神社は約600年前から榑浦村・下福井村・榑地村・
榑村・榑泊村の5ヶ村の氏神として鎮座していた。また、徳島藩主蜂須賀氏は、社寺
の保護と管理を重視したので、この神社も蜂須賀家・賀島家の崇敬社として、社領・修
繕費・御供米などの寄進がなされている。祭神は菅田別命(ほむだわけのみこと・応
神天皇)で、元は八幡宮といい、神宮寺の構えであったが、明治3(1870)年に今の名
称に改めた。境内の大楠は幹周23mにも及ぶ大木で有名である。

●神宮寺 本尊は不動明王で、もともと小谷の一の谷にあったが、行基菩薩の
開基で弘法大師が再建した。長宗我部氏に焼かれたが、正保年間(1644~1647
年)に秀仙法師が再興した。山門をくぐると般若心経塔、本堂左の石段左に三十三観
音の写し、霊場の本尊刻石がある。

●足神さん 杉尾神社の北下にある。昔からいざりを祭った神様と云われ、足の
神様として信仰する人が多い。現在、道標が建立されている。